吹田市ペットボトルのボトル to ボトル（水平リサイクル）推進事業
公募型プロポーザル　第１回選定委員会
【議事概要】

１　開催日
　令和７年６月９日（月）午後１時 30 分から午前２時 10 分まで

２　開催場所
　吹田市役所高層棟２階　環境政策室会議室

３　出席者
委員長：環境部長
委　員：環境部次長、総務部広報課長、都市魅力部シティプロモーション推進室長、
　　地域教育部まなびの支援課長
事務局：環境部環境政策室

４　議題
　吹田市ペットボトルのボトル to ボトル（水平リサイクル）推進事業公募型プロポーザル実施要領（案）等について

５　委員会の議事要旨
　事務局より、出席者数の確認（委員５名中５名出席）を行い、定足数を満たし、本委員会が成立していることを確認。
　実施要領、関係書式、審査評価基準等の各案について説明し、以下の質疑を経て、実施要領案等が承認された。

６　プロポーザル選定委員会で出た質問及び意見

No.	意見及び質問	意見等に対する回答
1	提案書は審査項目の内容を盛り込むこととなっているが、審査項目の順番に沿って記載することや、目次等の記入などを示しておかないと、短時間で審査するのは困難ではないか。提案書の様式は自由とのことだが、一定の枚数の制限は必要ではないか。	提案書の枚数制限や項目の順番に沿って記載すること、体裁についての注意書きを要領に追記する。
2	審査項目が細かいため、あまり枚数の制限をしてしまうと抽象的な内容にな	【No. 1 と同じ】

	り評価が難しくなると考えるが、他市の先行事例を参考にするなど、プレゼンテーションの時間内で説明できる程度の枚数を設定してはどうか。	
3	評価項目のⅠ、Ⅱの中には、事業実績など客観的に採点ができ、評価者全員が同じ採点をすべき項目がいくつかあるが、あらかじめ事務局で採点を示してほしい。	事務局で対応する。
4	「事業計画の長期的な安定性があるか」という項目の評価配点に「５年以上の計画が示されている」が５点とあるが、この事業による契約は最長３年とある。 ５年以上で評価する必要性はどのように考えればいいか。	より長期的な視点を持った提案を評価する意図だったが、実情に合わせて「５年以上」を「３年以上」に修正する。
5	実施要領に記載の「審査項目」と別紙「審査基準と配点表」の項目の関連性がわかりにくい。番号を振るなど、提案書のどこにどの項目が書かれているのかわからないと、審査しにくいと感じる。 また、実施要領より別紙「審査基準と配点表」のほうが具体的に記載されているため、こちらを見て、漏れがないように提案書を作成してもらえるような記載にすべきではないか。	実施要領の５（２）審査項目について、表での記載を削除し、別紙配点表を参照する記載に修正する。
6	事業実績のうち、Ａランクの処理実績がＢランクの処理実績より配点が高いのはなぜか。Ｂランクのペットボトルのほうが、再資源化するための手間がかかるのではないか。	Ｂランクの処理実績がより配点が高くなるよう修正する。
7	「Ⅲ啓発に関する項目」のうち、「ペットボトルの回収率アップにつながる取組み提案」と「廃棄されるペットボトルの削減につながる取組み提案」の違いがわかりにくい。	ごみ減量に関する啓発事業であることがわかるよう、具体例として「マイボトルの普及推進など、ペットボトルの廃棄量そのものの削減～」と追記する。